

学校の沿革

- 昭和45年 千葉県立袖ヶ浦養護学校の分校（知的障害）として設立。
千葉県立袖ヶ浦養護学校楨の実分校と称する。
- 54年 袖ヶ浦養護学校から独立。千葉県立楨の実養護学校と称する。
56年 学校移転。（旧袖ヶ浦養護学校校舎へ）高等部設置認可。
59年 プール竣工。
- 61年 自主公開研究会（昭和61，62年）
63年 創立十周年記念式典。「開校十周年の歩み」発刊。
- 平成 2年 学校公開 記念講演 牟田悌三氏 演題「幸せは発見ある日々」
5年 蔵波小心身障害理解推進教育研究校公開研究会相手校の協力。
8年 自主公開研究会。
10年 創立二十周年記念まきのみ集会。
「特殊教育教育課程」研究指定校（平成10，11年度）
- 11年 千葉県教育功労賞団体賞受賞。
15年 創立二十五周年記念。
17年 スクールバスシェルター完備。
18年 特別支援教育体制推進事業の推進校指定。
千葉県教育長（佐藤 健太郎先生）来訪。
19年 校名を千葉県立楨の実特別支援学校に変更。
特別支援教育体制推進事業の推進校指定。
20年 発達障害等支援、特別支援教育総合推進事業推進校。
普通教室全室冷房化
21年 文部科学省指定「自閉症に対応した教育課程の在り方に関する調査研究事業」の実践研究校。

